

(重要)「南海トラフ地震臨時情報」

「調査中・巨大地震警戒・巨大地震注意・調査終了」が発表されたら

たかおかこども園

(1) 登園前に「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されたら

- ア 園児の受け入れが可能か確認し、園から連絡のあるまでの間、臨時休園となります。
※災害の規模に応じて、自治体からの情報を基に、今後の対応を検討します。
- イ 南海トラフ地震発生の恐れがなくなったと認められた場合、「南海トラフ地震臨時情報（調査終了）」が発表された場合」翌日からの保育を再開（予定）します。（注1参照）
※災害の規模によっては通信インフラが機能しない場合も考えられますので、国や自治体からの情報を確認の上、

(2) 登園途中に「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されたとき

- ア 「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されたら、園児を登園させないで下さい。
- イ すでに登園した園児は、保護者の迎えがあるまで安全な場所（ホール又は運動場）に待機させますので、安全な方法で速やかに、園児を園へ迎えに来て下さい。到着され次第、園児と一緒に帰宅していただきます。
- ウ 園ワゴンは乗車途中でも、安全な場所に待機し、状況に応じて園へ向かいますので、速やかに園児を園へ迎えに来て下さい。

(3) 在園中に「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されたとき

- ア ただちに保育を中止し、園児を安全な場所（ホール又は運動場）で待機させます。
- イ 保護者の方は、安全な方法で速やかに、園児を園へ迎えに来て下さい。到着され次第、園児と一緒に帰宅していただきます。
- ウ 事情により、迎えができない場合は、代理の方をお願いして下さい。（引き渡しカードに記入してある代理人以外の方には引き渡しません）
※災害の規模によっては通信インフラが機能しない場合も考えられますので、国や自治体からの情報を確認の上、安全な方法でお迎えをお願いします。

(4) 降園途中に「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表された場合

- ア 保護者の方が園児の安全を確保しながら帰宅又は安全な場所へ移動してください。
- イ 園ワゴンは降車途中でも、状況に応じて園へ戻りますので、安全な方法で速やかに園児を園へ迎えに来て下さい。

◎「(調査終了)」が発表された場合 (注1)

※なお、当日午前7時までに、「南海トラフ地震臨時情報（調査終了）」が発表された場合は、平常通り保育を行います。
但し、大規模地震発生の可能性がなくなったわけでないことに留意しておきましょう。

※家庭に於いても、3日間分の食料と、3日分の1人3リットルの水を備蓄しておくようにしましょう。

(参考資料)

「南海トラフ地震臨時情報が発表されたら！」

1. 南海トラフ地震とは？

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。過去の事例を見てみると、これまで 100～150 年の周期で大規模な地震が発生しており、1707 年の宝永地震のように駿河湾から四国沖の広い領域で同時に地震が発生したり、マグニチュード 8 クラスの大規模地震が隣接する領域で時間差をおいて発生したりするなど、その発生過程に多様性があることがわかります。地震調査研究推進本部の長期評価によると、マグニチュード 8～9 クラスの地震が今後 30 年以内に発生する確率は 70～80% (令和 4 年 1 月 1 日現在) とされています。

国の被害想定(平成 24 年 8 月 29 日公表)では、津波による死者が最大で 22 万 4 千人と甚大な被害が想定されているところですが、地震直後に避難を開始する住民の割合が高くなり、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけがより効果的に行われた場合には、想定に比べて約 8 割の被害軽減効果が推計されています。

一人一人が迅速かつ主体的に避難行動が取れるよう日頃から備えましょう。

2. 南海トラフ地震臨時情報とは？

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。情報名の後にキーワードが付記され「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」等の形で情報発表されます。

気象庁において、マグニチュード 6.8 以上の地震等の異常な現象を観測した後、5～30 分後に南海トラフ地震臨時情報(調査中)が発表されます。その後、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の臨時会合における調査結果を受けて、該当するキーワードを付した臨時情報が発表されます。

政府や自治体から、キーワードに応じた防災対応が呼びかけられますので、呼びかけの内容に応じた防災対応をとってください。

南海トラフ地震臨時情報		発表条件
		■ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
キーワード	調査中	■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	巨大地震警戒	■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	■ 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■ 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合 ■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
	調査終了	■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

3. 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら何をすればいいの？

南海トラフ地震臨時情報(調査中)が発表された場合は、個々の状況に応じて避難等の防

災対応を準備・開始し、今後の情報に注意してください。また、地震発生から最短2時間後に観測された異常な現象の調査結果が発表されます。政府や自治体からキーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意または調査終了）に応じた防災対応が呼びかけられますので、それぞれの内容に応じた防災対応をとってください。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合は、日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難できる準備をする必要があります。地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は1週間の事前避難を行う必要があります。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された場合は、事前の避難は伴いませんが、日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難できる準備をしましょう。

南海トラフ地震臨時情報（調査終了）が発表された場合は、地震の発生に注意しながら通常の生活を行いましょう。ただし、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しておきましょう。

地震発生から最短2時間後	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）	南海トラフ地震臨時情報（調査終了）
（最短） 2時間程度	- 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 - 地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は事前避難 	日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。 
1週間（※）	日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。 	
2週間	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。		

※ 通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と概ね同程度の期間が経過したときまで